



「次の慣用句を使って、短いお話（または文章）を書きましよう。」

慣用句

砂を噛むよう

一人で食べるご飯は砂を嚙むようだ。

慣用句

息が詰まる

慣用句

あいづち
合槌を打つ

慣用句

腹に一物 いちもつ

慣用句

腹の皮がよじれる

慣用句

板につく

慣用句

心を奪われる うば

慣用句

裏目に出る

慣用句

大目に見る

慣用句⑤

名前



「次の慣用句を使って、短いお話（または文章）を書きましょう。」

例

慣用句

砂を噛むよう^か

一人で食べるご飯は砂を噛むようだ。

①

慣用句

息が詰まる^っ

シーンとした試験会場は、息が詰まるようだった。

②

慣用句

合槌を打つ^{あいづち}

彼女は人の話を聞くのが上手で、いつも優しく合槌を打ってくれる。

③

慣用句

腹に一物^{いちもつ}

彼の笑顔の裏には、何か腹に一物ありそうだ。

④

慣用句

腹の皮がよじれる

彼の面白い話に、腹の皮がよじれるほど笑った。

⑤

慣用句

板につく

新しい制服がすっかり板について、もう何年も着ているみたいだ。

⑥

慣用句

心を奪われる^{うば}

美しい音楽に心を奪われ、時間が経つのも忘れた。

⑦

慣用句

裏目に出る

友達を励ますつもりで言った言葉が、裏目に出て怒らせてしまった。

⑧

慣用句

大目に見る

弟が少し宿題を間違えたけど、お母さんは大目に見てくれた。